

目次

理事長インタビュー	1
紫雲ゴルフ倶楽部 理事長 高橋 衛	
1989年度主催競技実施要項	4
実施規定	6
新連載—JGAハンディキャップは今	9
ゴルフQ&A	12
新規加盟倶楽部紹介	14
役員・理事・分科委員一覧	16
総会、理事会、委員会	18
お知らせ、月例競技成績表(11・12・1・2月)	23

表紙photo 般能ゴルフ倶楽部

 関東ゴルフ連盟

理事長インタビュー

わが倶楽部は“紫雲たなびき、 桜花爛漫”

紫雲ゴルフ倶楽部理事長 高橋 衛
聞き手・KGA広報委員 杉山通敬



高橋 衛氏

——単刀直入にお伺い致しますが、現在、紫雲ゴルフ倶楽部が抱えているもっとも大きなテーマからお聞かせ下さい。

「実は大きな夢があるんですよ。わたくしどものコースは昭和41年に、当時のコース設計家の第一人者である藤田鉄哉さんのレイアウトで、まず18ホール。開場し、3年後の44年に9ホールを増設したわけですが、20年以上経過しますとほうぼう傷んでまいりましてね、手直しが迫られています。そんな矢先、61年春の異常低温による被害に遭ったわけです。高麗グリーンの芽立ちが悪うございましてパッティングクオリティが著しく低下したんです。ここにいる佐藤支配人はちょうど、そのころに就任したんですが、まことに勉強家なものですから県内外のゴルフ場のことをよく調べてくれた。その結果、メイングリーンをペントにし、同時に時代の趨勢は従来のような円型の受けグリーンから、適度のアンジュレーションのある、しかもホールごとに形の変化したグ

リーンになっているようなので、新しい時代にマッチしたものに造りかえようではないか。ついでにグリーン周りの造形もマウンドなどを適宣に配して、ナイスショットとミスショットの信賞必罰の度合いを厳しくしよう。しかし、あくまでも藤田さんの原設計は損ねないように、ということで63年度は手始めに佐渡コース（9ホール）を改造したわけです。改造についての設計監修は日本ダンロップエンタープライズ社に依頼し、今年もひきつき加治川コース（9ホール）の改造を計画しております。ま、これはコース委員の方々だと、常任理事会、さらには当倶楽部以外の専門的な知識を持っている方々のご意見も参考にさせて頂きましたけどね」

——なるほど。異常低温がコース改造の引き金になつたのですか。で、大きな夢とおっしゃいますのは？

「さて、それですよ。この際、9ホール増設して全部で36ホールにしようではないかという案が持ち上がったわけです。佐渡コースと加治川コースを18ホールにまとめ、現在の飯豊コースと新設予定の9ホールを合せて18ホールにして、前者はいま申し上げたように藤田さんの原設計をいかし、後者はアメリカの設計家デニス・グリフィスに依頼して、新しいタイプのコースにしよう。クラシックスタイルの18ホールと今日風の18ホール、これは面白いコースに



どんなコースに仕上がるか、夢は広がる



月に2、3回は今でも必ずラウンドする
るんです。大きな夢、というのはそういうことも含
まれてるわけです」

—お見受けしたところ、ご健康そうでなによりです。
「いえ、2年ほど前に軽い脳梗塞をやりまして、寒
い間のゴルフを禁止されてるんですよ。でも暖くな
れば月に2、3回はラウンドしてます。もう82歳で
すから無理は出来ませんが、とにかく夢が現実にな
るまでは頑張ります。幸い後遺症もありませんしね」

て、約3ヶ月は雪でクローズするわけで、その間、
収入はゼロ、なにせ雪国には冬眠の時季があります
ので苦労します。しかし、それだけに春を迎える気
分は格別です。いささか余談ですが、かつて、こ
の加治川沿岸の桜は全国で1、2を争うほどの名所
でした、東京から政財界のお偉ら方が見物に来たも
のです。ところが、昭和41、42年の大水害で堤防が崩
れましてね、桜が犯人に仕立てられちゃったんです。
樹齢50年の大木が長堤10里と言わされたほどに見事な
並木をつくっていましたが、その根が張りすぎて堤
防を崩したというわけです」

—山本五十六が花見をしたというところですね。
「そうです。ところが犯人扱いされて全部、伐られ
ちゃったんです、県の指導で。それを佐藤支配人が
掛けいまして、県が伐ったのだから、もう一度、県
が桜並木を復活してくれ、と言うわけです。もともと
と初代社長の葉山健二郎さんが、その桜に惚れ込んで
ここにゴルフ場を造った経緯があり、わたしども
としても復活を持ち望んでいた。それがようやく実
現の運びになりました、新コースが完成するころに
はまた花見ゴルフが楽しめるのではないかと思って

なるぞ、と、わたしは夢をふくらませてることろな
んです」

—完成予定はいつごろですか。

「平成4年を目指しています。わたし（明治40年
生）はなんとかそれまで頑張って、お目付役と申し
ますか、入れ物は良くなつたがプレーヤーの質が低
下したなどと言われないように目を光らせていたい
と思ってるわけです」

—で、その質の低下の問題ですが、特別にご留意な
さっている点はござりますか。

「幸い、今のところ大きな問題はありません。新潟
県を代表するような方が会員になっていますので、
ビジターでおいで下さる方もその雰囲気を損ねない
ようにしてくれるんでしょうね」

—“紫雲”へ行ったら、おかしなことに出来ない、
という気分が働くのでしょうか。

「固苦しいものではなく、おのずから出てくる良い
雰囲気ですからね、そういうものを大事にしたいと
思います」

—新潟の県民性がクラブライフに反映してる点もあ
るのでしょうね。

「その点、佐藤支配人はどう思うかな」

「昔から、新潟人はアバランチ骨が1本足りないなん
て言われてます（笑い）。つまり“出すぎることがな
い”というか、遠慮がちなんです。ま、田中角栄さん
のような人物もいますけど、だいたいは保守的で、
先を争ってなにかしようというような人は少ないで
す」



増設予定地で支配人にこまかい指示

「農家が多いからね。しかも大きい、裕福な農家な
んですね」

—保守的っていうことは、先輩を立てるとか、強いて
は周囲といらぬ軋轍をおこさないとか、ゴルフの
エチケットやマナーを守るうえでは好ましい性向じ
やないでしょうか。

「そういうことは言えるでしょうね。粘り強いです
し、ゴルフにはむいてると思いますけど……」

—関越道路とか上越新幹線などで拓けた反面、県外
資本、特に東京の企業が進出してきて、そうした県
民性が踏みにじられるような恐れはないですか。

「たしかに東京の大資本がゴルフ場の造成に乗り出
して来たり、湯沢などはホテルだのマンションだの
の乱立で、地元民が追い出されている。それも時代
の情勢なんでしょうか、わたしどもとしては切磋琢磨
の気構えを持って臨まないといけないと思ってます。
しっかりしなければ、という気構えですね。いかにあ
るべきか、というビジョンを持って俱楽部運営
その他を進め、一つの規範をつくり上げていきたい
と思います」

—各県には、そういう意味で“核”になる俱楽部が
必ずあるようです。

「たしか、県連盟に加盟してる俱楽部は23だったと
思いますが、いろいろな面から考えてわたくしども
のところがリーダーシップをとらなければならぬ
かもしれませんね。その意味もあって、昭和58年には
日本プロを当俱楽部で開催させていただきましたし、
新コースが完成して36ホールになりましたら、
また何かトーナメントをお願いしたいと思っている
んです」

—県外からのプレーヤーはどのくらいの割合ですか。

「全体の15%、そのうちの10%強が関東圏です。会
員でいいますと、1876名の会員のうち1730名、92%
強が新潟県で、さらに1227名が新潟市に在住してい
ます。東京を含めた関東が6%弱、圧倒的に新潟市
民です。新コースを増設するにあたり、新たに会員
を若干名募集するか、ほかの手当てをするか、目下、
考慮中です。なにせ、50億円ほどかかりますからね。
今年は暖冬でしたから、クローズの期間も短かった
んですけど、例年は12月中旬から3月の彼岸あたりま

1989年度主催競技実施要項

月	日	曜	競技名	開催コース	競	
					方 法	參 加
5	8	月 火	関東女子予選 第1ブロック 第2ブロック	相 佐 武 倉	I8S //	1. 加盟倶楽部各種女子会員 2. JGA HDCP I8まで 3. 未実施倶楽部は年間ベスト10スコアでI6まで
5	16	火 月	関東アマ予選 第1ブロック 第2ブロック 第3ブロック 第4ブロック 第5ブロック 第6ブロック	東 京 国 際 高 麗 伊 豆 塩 姉 白	I8S // // // // // //	1. JGA HDCP 8まで 2. 未実施倶楽部は年間ベスト10スコアで7まで 3. 前年度東日本パブリック・アマ2~10位 4. 前年度関東ジュニア高校2~10位・中 学1~3位
5	23	火 水	関東女子決勝	鎌 ヶ 谷	I8S // } 36S	1. 予選通過者 2. 関東女子前年度10位
5	26	金 水	関東倶楽部対抗予選 東京地区 埼玉地区	武 藏 野 武 藏 (井)	I8S //	
31			千葉第1地区	千 葉 夷 隅	//	
30			千葉第2地区	千 葉 廣 濟 堂	//	
6	5	月	神奈川地区	レ イ ン ボ ー 一	//	
5	29	月	茨城第1地区	フ レ ン ド シ ブ	//	
24			茨城第2地区	茨 城 バ シ フ イ ク	//	
6	2	金	栃木第1地区	鹿 沼	72	
5	25	木	栃木第2地区	鳳 月	//	
26			群馬地区	サ ン コ 一	//	
30			静岡地区	朝 霧 ジ ャ ン ボ リ ー	//	
31			長野地区	サ ニ 一	//	
63.9	20	火	新潟地区	紫 雲	I8S	
6	13	火 水 木	関東アマ決勝	茨 城	I8S // } 72S 36S	1. 予選通過者 2. 月例総合成績40位 3. 前年度関東アマ5位 4. 前年度関東オーブン・アマ3位 5. 前年度関東ジュニア高校男子の部1位
6	26	月	関東倶楽部対抗 決勝	大 利 根	I8S	1. 各ブロック予選通過チーム
7	25	火 水 木	関東ジュニア予選	ノーザン錦ヶ原	I8S // //	1. 競技当日年齢満18歳までの全日制中・ 高校生で関東地区在住者 (静岡、長野以東新潟以西)
8	2	水 木	関東ジュニア決勝	武 藏 (井)	I8S // } 36S 高校男子I8S 中学男子I8S 女子I8S	1. 予選通過者 2. 前年度男子5位までの者 3. 中学、女子は優勝者のみ 4. 主催者特別承認者
8	31	木 金 土 日	関東オープン	日 高	I8S // // // //	1. アマ 関東アマ40位 前年度世界アマ日本代表 (関東在住)
9	4	月 月 月	関東シニア予選 第1ブロック 第2ブロック 第3ブロック	裾 日 浅 野 本 見	I8S // // //	1. 年内に60歳を越える者 2. JGA HDCP I6まで
9	20	水 木	関東シニア決勝	我 孫 子	I8S // } 36S	1. 予選通過者 2. 前年度関東シニア10位まで
10	9	月	関東 グランドシニア	鷹 之 台	I8S	1. 数え年70歳以上 2. JGA HDCP 22まで

資 格	技			備 考
	予選通過基準	授賞範囲	參 加 料	
4. 前年度関東ジュニア選手権3位までの者 5. 関東学連推薦若干名 6. KGA特別承認者	各ブロック60位まで	メダリスト	予選決勝を通じ 20,600円 (税600円)	
5. KGA後援各県アマ5位 (茨城、埼玉、神奈川、静岡) 6. KGA後援各県オープン5位 (新潟、栃木、茨城、埼玉、神奈川) 7. 関東学連推薦若干名 8. KGA特別承認者	各ブロック17位まで	メダリスト	予選決勝を通じ 20,600円 (税600円)	
3. 月例総合成績10位 4. KGA特別承認者	全員2日間プレー	1~5位	シード選手のみ 20,600円 (税600円)	
		各ブロック予選 優勝チーム 個人メダリスト	予選決勝を通じ 154,500円 (税4,500円)	
			予選決勝を通じ 150,000円	
6. 前年度東日本パブリック・アマ1位 (関東在住) 7. 前年度世界アマ日本代表(関東在住) 8. KGA特別承認者	前半36S 成績65位 までが後半に進出	1~5位	シード選手のみ 20,600円 (税600円)	
2. 開催倶楽部チーム		優勝、準優勝 個人メダリスト	開催倶楽部のみ 154,500円 (税4,500円)	
2. 主催者特別承認者	高校男子150人 中学男子12位 女子12位	メダリスト	予選決勝を通じ 5,150円 (税150円)	
	高校男子前半I8Sで 80位までが後半進出	高校男子1~5位 中学男子1~3位 女子1~3位	シード選手のみ 5,150円 (税150円)	
2. プロ 関東オープン歴代チャンピオン // 前年度15位まで 関東プロゴルフ協会選考85名 3. KGA特別承認者	前半36S 60位(含アマ)	プロ賞金3,000万円 アマ1~3位 // 入選記念品 プロ・アマNHK杯	加盟 20,600円 (税600円) 加盟外 25,750円 (税750円)	
3. 未実施倶楽部は年間ベスト10スコアで 14まで 4. KGA特別承認者	各ブロック60位まで	メダリスト	予選決勝を通じ 20,600円 (税600円)	
	全員2日間プレー	1~5位	シード選手のみ 20,600円 (税600円)	
3. 未実施倶楽部は年間ベスト10スコアで 20まで 4. KGA特別承認者		1~5位	15,450円 (税450円)	

実施規定

平成元年度 関東女子ゴルフ選手権競技 実施規定

◎予選
期日 平成元年5月8日㈰ 第1ブロック
〃 9日㈪ 第2ブロック

開催場所 第1ブロック
相武カントリー倶楽部
八王子市大船町620
TEL0427-71-8211
第2ブロック
佐倉カントリー倶楽部
佐倉市飯田1000
TEL0434-85-0311

1.競技規則 日本ゴルフ協会ゴルフ規則、および本競技特別規則を適用する。

2.競技の条件 18ホール・ストローク・プレーを行ない、各ブロック上位60位までが5月23日から2日間、鎌ヶ谷カントリークラブで開催する決勝競技出場資格を得る。但し、各ブロック予選通過者数は参加者の数によって変更することがある。

3.参加資格 (1)加盟倶楽部各種女子会員でJGAハンディキャップ18まで
但し未実施倶楽部は下記計算により16まで
(2)昭和63年度関東ジュニア選手権3位までの者
(3)関東学生ゴルフ連盟推薦の若干名
(4)KGA特別承認者

4.賞 メダリスト賞
5.参加料 予選、決勝を通じ、20,600円(税600円)
参加料は倶楽部で取りまとめ
「三和銀行東京営業部関東ゴルフ連盟普通預金口座No.380」に倶楽部名で振込みのこと。
(注)締切以後の参加取消しの場合は参加料を返金しない。

6.申込み方法 (1)該当者は、所属倶楽部に参加料を添えて申込むこと。
(2)該当者は、直接連盟に申込むこと。

7.申込み期日 平成元年4月10日㈰ 17時必着(参加申込書必着)
但し、JGAハンディキャップ未実施倶楽部は4月6日㈪17時必着。
締切以後は理由の如何を問わず受け付けない。電話・ファックス等での申込みは一切受け付けない。

8.指定練習日 指定練習日は各ブロック2回指定日を定め、うちいずれか希望日1回はメンバー並み扱い、1回は一般ビジター扱いとし、希望日を開催倶楽部に届け出のこと。ビジター扱い日利用の場合、倶楽部側にスタート予約することが必要だが、出場選手は会員の紹介を必要としない。

9.希望ブロック 予選の希望ブロックは一切認めない。
組合せは公正な予選競技となるようハンディキャップ等を考慮して競技

委員会が決定する。
(記) JGAハンディキャップを持っていない方は、所定の申請書に1年以内のベスト・カード10枚を提出して出場資格を取得してください。また申請書は参加申込書に添えてお送りください。

◎決勝
期日 平成元年5月23日㈫、24日㈬

場所 鎌ヶ谷カントリークラブ
鎌ヶ谷市中沢1348
TEL0474-44-4111

1.競技規則 勝日本ゴルフ競技ゴルフ規則、および本競技特別規則を適用する。

2.プレーの条件 5月23日㈫ 第1ラウンド 18ホール・ストローク・プレー
5月24日㈬ 第2ラウンド 18ホール・ストローク・プレー

3.タイの決定 36ホールを終り、第1位がタイの場合は、委員の指定するホールに於いて、サドン・デス方式のプレー・オフにより優勝を決定する。

4.参加資格 (1)例競技(昭和63年4月より平成元年3月までの)の総合得点10位までの者
(2)関東女子前年度10位までの者
(3)本年度関東女子選手権各ブロック予選通過者

(4)KGA特別承認者
優勝者 KGA杯(レプリカ)
2位 金製ブローチ
3位 " "
4位 " "
5位 " "

5.賞 全員 決勝出場記念品
20,600円(税600円)(但し、決勝シード選手のみ)
(注) 締切以後の参加取消しの場合は、参加料を返金しない。

6.参加料 参加資格(1)・(2)の該当者は所属倶楽部に参加料を添えて申込むこと(予選通過者は決勝に改めて申込みを必要としない)。

7.申込み方法 申込みを受けた倶楽部は所定の申込書に参加料を添えて連盟に申込むこと。
参加料は倶楽部名で

「三和銀行東京営業部関東ゴルフ連盟普通預金口座No.380」へ振込みのこと。
平成元年5月9日㈫ 17時必着

締切以後は理由の如何を問わず受け付けない。

8.申込み期日 5月18日㈭、19日㈮。
1人2日間メンバーや並み扱いとし、スタート時間を倶楽部へ予約すること。

9.指定練習日 5月25日㈯
(備考) 平成元年度日本女子アマチュア選手権競技(6/6~6/8 広島カントリー倶楽部八本松コース)の参加者は予選競技参加者の比率などにより後日JGAで決定し、本競技当日発表する。

実施規定

平成元年度 関東アマチュアゴルフ選手権競技 実施規定

◎予選
期日 平成元年5月15日㈰ 第2・第6ブロック
〃 16日㈪ 第1ブロック
〃 18日㈫ 第3ブロック
〃 19日㈬ 第5ブロック

開催場所 第1ブロック
東京国際カントリー倶楽部
町田市下小山田1668
TEL0427-97-7676

第2ブロック
高麗川カントリークラブ
入間郡日高町大字北平沢1485
TEL04298-9-3131

第3ブロック
伊豆にらやまカントリークラブ
田方郡韭山町中1613
TEL0559-44-0152

第4ブロック
塩原カントリークラブ
那須郡塩原町折戸148
TEL0287-35-2211

第5ブロック
姉ヶ崎カントリー倶楽部
市原市立野165-1
TEL0436-66-1116

第6ブロック
白帆カントリークラブ
鹿島郡鉢田町半原308-4
TEL0291-64-4131

1.競技規則 勝日本ゴルフ競技ゴルフ規則、および本競技特別規則を適用する。

2.競技の条件 18ホール・ストローク・プレーを行ない、各ブロック上位17位までが6月13日から3日間茨城ゴルフ倶楽部で開催する決勝競技出場資格を得る。但し各ブロック予選通過者数は参加者の数によって変更することがある。

3.参加資格 (1)加盟倶楽部会員で、JGAハンディキャップ8までのアマチュア、但し未実施倶楽部は下記計算により7まで

(2)昭和63年度関東ジュニア選手権高校男子の部2~10位までの者および中学男子の部1~3位までの者

(3)昭和63年度東日本パブリックアマ選手権5位までの者

(4)昭和63年度KGA後援各県アマチュア選手権5位までの者

(5)昭和63年度KGA後援各県オープンのアマチュア5位までの者

(6)関東学生ゴルフ連盟推薦の若干名
(7)KGA特別承認者

メダリスト賞
予選、決勝を通じ20,600円(税600円)

参加料は倶楽部名で「三和銀行東京営業部関東ゴルフ連盟普通預金口座No.380」へ振込みのこと。

6.申込み方法 (注) 締切以後の参加取消しの場合は、参加料を返金しない。

・参加資格(1)の該当者は、所属倶楽部に参加料を添えて申込むこと。

・参加資格(2)(3)(4)(5)(6)(7)の該当者は、直接連盟に申込むこと。

開催場所 東京国際カントリー倶楽部
町田市下小山田1668
TEL0427-97-7676

第2ブロック
高麗川カントリークラブ
入間郡日高町大字北平沢1485
TEL04298-9-3131

第3ブロック
伊豆にらやまカントリークラブ
田方郡韭山町中1613
TEL0559-44-0152

第4ブロック
塩原カントリークラブ
那須郡塩原町折戸148
TEL0287-35-2211

第5ブロック
姉ヶ崎カントリー倶楽部
市原市立野165-1
TEL0436-66-1116

第6ブロック
白帆カントリークラブ
鹿島郡鉢田町半原308-4
TEL0291-64-4131

1.競技規則 勝日本ゴルフ競技ゴルフ規則、および本競技特別規則を適用する。

2.競技の条件 18ホール・ストローク・プレーを行ない、各ブロック上位17位までが6月13日から3日間茨城ゴルフ倶楽部で開催する決勝競技出場資格を得る。但し各ブロック予選通過者数は参加者の数によって変更することがある。

3.参加資格 (1)JGAハンディキャップを持っていない方は、所定の申請書に1年以内のベスト・カード10枚の明細を記入し、出場資格を取得してください。また申請書は参加申込書に添えてお送りください。

4.指定練習日 指定練習日は各ブロック2回指定日を定め、うちいずれか希望日1回はメンバー並み扱い、1回は一般ビジター扱いとし、希望日を開催倶楽部に届け出のこと。ビジター扱い日利用の場合、倶楽部側にスタートを予約することが必要だが、出場選手は会員の紹介を必要としない。

5.申込み方法 予選の希望ブロックは一切認めない。

組合せは公正な予選競技となるよう、ハンディキャップ等を考慮して競技委員会が決定する。

6.申込み期日 (記) JGAハンディキャップを持っていない方は、所定の申請書に1年以内のベスト・カード10枚の明細を記入し、出場資格を取得してください。また申請書は参加申込書に添えてお送りください。

7.申込み方法 (注) 締切以後は理由の如何を問わず受け付けない。

8.指定練習日 予選の希望ブロックは一切認めない。

組合せは公正な予選競技となるよう、ハンディキャップ等を考慮して競技委員会が決定する。

実施規定

5.賞	東在住)の者 (6)昭和63年度関東ジュニア選手権1位の者 (7)本年度関東アマチュア選手権各プロ ク予選通過者 (8)KGA特別承認者 優勝者 レブリカ 2・3位 メダル 4・5位 菊皿 全員 決勝出場記念品	としない)。 申込みを受けた俱楽部は所定の申込書に参加料を添えて連盟に申込むこと。 参加料は俱楽部名で。 「三和銀行東京営業部関東ゴルフ連盟普通預金口座No.380」へ振込みのこと。 平成元年5月19日(金) 17時必着 締切日以後は理由の如何を問わず受け付けない。
6.参加料	20,600(税600円)(但し、決勝シード選手のみ) (注) 締切以後の参加取消しの場合は、参加料を返金しない。 参加料(1)(2)(3)(4)(5)(6)の該当者は所属俱楽部に参加料を添えて申込むこと(予選通過者は決勝に改めて申込みを必要)	6月6日(木)、7日(金)、8日(土)、9日(日) 1人2日間メンバー並み扱いとし、予めスタート時間をクラブへ予約すること。
7.参加申込	10.競技予備日 (備考) 平成元年度日本アマチュア選手権競技(7/4 ~ 7 龍ヶ崎カントリー倶楽部)の参加資格者は予選競技参加者の比率などにより後日JGAで決定し、本競技当日発表する。	6月16日(金)

平成元年度 関東倶楽部対抗競技実施規定

1.平成元年度参加希望チームが多数のため、予選を実施する。	(2)登録締切日 平成元年3月31日(木)
(1)予選は都県別を主体として13ブロックに分けて実施し、指定のチーム数に達しない県の倶楽部は適宜他のブロックに配分する。	(3)登録期間 1ヵ年とする。
(2)新規参加希望チームが出た場合は、当該都、県ブロックに配分する。	4.参加申込 (1)選手の指名 登録選手の中よりAクラス4名、Bクラス4名を正選手として指名すること。 (2)選手の変更 指名された選手の変更是登録選手内に限る。尚、競技当日の変更是スタート30分前まで競技委員長へ、当日以前はKGAまで連絡すること。 (3)申込締切日 各地区キャプテン会議の2週間前までにKGA必着のこと。
(3)決勝開催倶楽部は予選競技に出場することはできない。	(4)参加料の払込 予選、決勝を通じ1チーム154,500(税4500円)、参加申込みと同時に「三和銀行東京営業部関東ゴルフ連盟普通預金口座No.380」へ振込みのこと。
2.予選競技方法 (1)競技方法 18ホール・ストローク・プレー (2)チーム構成 Aクラス満50歳以上(競技当日)4名 Bクラス年齢制限なし 4名 計8名出場 但し、選手は学生、未成年者を除く正会員に限る。	5.予選競技主催会議 13ブロックにて開催 6.予選競技開催期日 5月24日(木)茨城パシフィック 5月25日(金)鳳凰 5月26日(土)武藏野・サンコー 5月29日(火)フレンドシップ 5月30日(水)千葉夷隅・千葉廣済堂・朝霞ジャンボリー 6月2日(金)鹿沼72 6月5日(月)レイインボーリゾート 昭和63年9月20日(火)紫雲
(3)順位決定 AB両クラスの各ベスト3名、計6名のスコアによって決める。 タイ・スコアのときの決定方法 イ.スコア総計がタイのときはBクラス4人目、なおタイのときはAクラス4人目のスコアによって決める。 ロ.なおタイのときはBクラスの個人ベスト・スコアの良い方を上位とし、それもタイのときは以下順次Bクラスのベスト・スコアを比較して決める。	7.決勝競技方法 (1)競技方法 18ホール・ストローク・プレー (2)チーム構成 予選規定による。 (3)順位決定 "
(4)予選通過 ブロック出場チーム数が16チームまでは第2位まで " 24チームまでは第3位まで " 32チームまでは第4位まで " 33チーム以上は第5位まで 注、参加チーム数の少ない地区は近隣地区に割当てる。	8.決勝進出チーム選手申込締切日 6月5日(月) 9.決勝進出チーム主催会議 6月中旬 10.決勝競技開催期日 6月26日(火) 11.決勝競技開催コース 大利根カントリークラブ 12.表彰 (1)各ブロック予選第1位チーム およびA、B両クラス個人最優秀選手 (2)決勝は優勝、準優勝 およびA、B両クラス個人最優秀選手
3.出場選手登録規定 (1)選手登録 Aクラス4名以上、Bクラス4名以上を所定の登録選手名簿で登録してください。(但し、登録選手は他倶楽部または他地区連盟倶楽部選手として登録することはできない。また、登録人員には制限をもうけない。)	13.主催会議の競技事項 (1)ローカル・ルールの決定 (2)指定練習日の決定 (3)組合せとスタート時刻の決定 (4)その他

新連載—JGAハンディキャップは今—

より早く、より正確に

扶桑カントリー倶楽部のオンライン・システム

ルポ・KGA広報委員 宮元 昭雄

JGAの新しいハンディキャップ・システムが実施されるようになって、10年の歳月が過ぎた。

何事であれ、長い習慣を新しいものに改革するとなると、トラブルが生じやすく、それが定着するまでにはかなりの時日を要するものである。

この新しいJGA規定を採用した倶楽部の殆どが、採用の当初はかなりの戸惑いや混乱があったことは事実だ。しかし今ではどうにか、倶楽部委員会やその関係者たちの並々ならぬご苦労と努力のおかげで、スムーズに運営されているようである。

現在(3月1日現在)KGA加盟倶楽部数は387、このうち約83.5%の倶楽部が新規定を採用している。その方法にはいわゆるグリーン・システムというコンピューターシステムを採用しているところ、依然として手計算で算出するクラブも相当数ある。ともあれ基本的にJGAハンディの規定の理念に基いてどうにか運用されているということは、一応可しなくてはなるまい。

ただこの83.5%という実施率、ひと皮むけばその内容が果して完全なものであるのかどうかは、大変疑わしいことは否めないようだ。

啓蒙から充実期へ

KGAハンディキャップ委員会としても、この数年間といふものは、とにかく規定の啓蒙と促進に重点を置くという指導方針をとってきた。しかし今後は実質的な運用とその内容の充実という点に力を入れた指導を展開しようということだけに、難題といわれたハンディキャップ問題もここに来てどうにか先の灯りが見えたとも言えるのかも知れない。

JGAの目的は全国統一のハンディキャップであることだ。システムをめぐって、あれこれ異論もあるようだが、加盟倶楽部がJGAの規定を順守してこそ、ゴルフ界全体の協調と秩序維持が保たれるというものだ。

未実施倶楽部の実情にふれてみると、そこには複雑な



ハンディキャッパー前に立った大東氏

しかも特殊な事情が介在していることに気がつく。今一度ハンディキャップの本質とその理念に理解を示し、より積極的に取組んで欲しいものである。決してそれは不可能なことではないと思うからである。

広報委員会では、こうした背景を踏えて「我が倶楽部の実施状況」という形でのキャンペーンを企画し、奈良に問題点があるのか、そしてそれをどう解決したか、また現在の運用状況等についてこの頁を通じてご紹介していきたいと思う。

正確だが時間がかかる

第一回目に登場頃ったのは茨城県の「扶桑カントリー倶楽部」。開場昭和53年4月、全長10,376m・27ホールのゆるやかな丘陵コースだ。

「オープン以来グリーン・システムを採用したが、この方式の利点である実力に応じたハンディキャップの算出が、これまでのやり方では時間がかかり過ぎるため、その利点が生かされないばかりか、倶楽部の各種競技に最新のハンディキャップと思っても間に合わず、いつも会員の苦情が耐えなかった。」と大東秀夫同社業務部長は當時を述懐する。

たしかに現行のシステムでは、ラウンドした後のスコア・カードをまとめてグリーン・システムにイン・バットする。そしてこれが計算されて倶楽部に戻ってくるまでには約2ヵ月という時間がかかる。

一ヵ月のうちに2度の競技会があるケースは多い。ましてや極端なアンダーで前競技で入賞した者のハンディキャップを修正することなくそのまま次の競技に出場させることは、他の参加者とのつり合いがそれなくなる。

グリーン・システムでは時間的に間に合わないという、この悩みを解消するにはどうすればよいか、大東氏は考えたという。

『いまはコンピューターの時代。なんとか解決の方法はある筈だ。』と以来、独自に俱楽部のハンディキャップ算出方法について熟考を重ねていた。折しも、『筑波博』でその技術をじっくりと見学する機会を得た。会場を圧するような大スクリーンに映る映像、これを俱楽部でも活用できないものか。と。そしてその答えを見つけるために東奔西走したという。数多くの資料館やコンピューターの技術関係者らを訪ねた。そして水戸の植物園でついにその答えを見つけた。パーソナル・コンピューターにある各種の花の映像、その育成の課程を映像で紹介する方にヒントを得たのである。「これだ。グリーン・システムに取り入れよう」と思い立ったのが、同俱楽部のオンラインシステムである。

メンバーの評判も上々

大東氏は『手前ミソ』と謙遜しながらも『日本一の運用だ』と自信のほどを語ってくれた。

オープン当初、俱楽部のキャプテンであった松野京三氏(KGA月例委員会委員長)も、「大変な努力と研究の結果このシステムを採用しているが、メンバーの間でも評判は高いし、なによりも規定の運用という点では、どこかの俱楽部にも負けない最新の方法だと思う」と太鼓判を押している。

このオンライン・システムの最大特徴は、スコア・カード提出から新しいハンディキャップ改定の通知を受取るまでの時間を、大巾に短縮し即日にでも判断できるということだ。

したがって、先述の競技者の極端なアンダーワンの調整も短時日のうちに処理することができる。この問題については、各俱楽部、相当頭を痛めており、ハンディキャップ委員会の特別権限の範囲内で内規などを制定して、一時的な対応しているのが現状である。例えば暫定ハンディキャップとか限定ハンディキャップという形で、新ハンディキャップ通知が到着するまでの期間をしのいでいるのが大半のようである。

余談になるが、筆者などは『アンダーワンを切ってハンディキャップを更に切り下げる』という考え方には多少の疑問を持っている。実力のある者は何度入賞のチャンスがあってもよいわけで、アンダーワンをカットして他の者と平等に入賞のチャンスを与えるという考え方だ。

ちらが公平かという点から見れば、議論の余地はあるような気がしてならない。要は実力のある者は、ハンディキャップをどう修正されようと、その実力相応のゴルフは出来るということだと思う。

カーレントシステムを見直そう

ところで扶桑カントリーが、現在KGAの計算センターと、俱楽部が保有するパーソナル・コンピューターとのオンライン化によって見事にこれらの問題を解決していくことについて、その内容がどのように従来のグリーン・システムと違うのか、該当する項目にわけて列記してみよう。(次頁参照)

このように対比してその処理状況を見てみるとわかるように、ハンディキャップの証明書が本人の手もとに渡るまでには約3ヶ月近くかかっているものが、扶桑の場合は、カード提出した日に決定し、約1ヶ月後にはKGAの証明が届くというわけだ。

つまり会員間にあっておぞきとするという苦情は、これで全く解消できることになる。

大東氏は「この方法は会員に対するサービスの向上に役立つばかりでなく、競技委員会やハンディキャップ委員会への資料提出などという場合でも、直ちに記録が打ち出せる便利さも加わり、その利点は生かされた」という。

クラブハウスのロビーの片隅にハンディキャップ・コーナーを常設し、目で見るハンディキャップとして、会員が提出したスコアカードの、ラウンド分の明細を30秒のテレビで会員の要求に応じて映し出すことも可能であり、これは会員自身が自分のスコアの推移を確認することも出来るし、その応用範囲は実に広い。

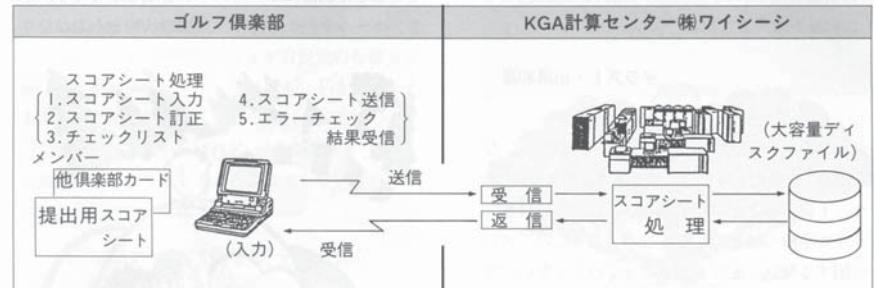
会員のハンディキャップ別、50音別、年齢別の一覧表などの作成や宛名ラベルの打ち出し、アンダーハンディ競技の自由な日程作りなど、事務の合理化にも大きく貢献しているようだ。

カーレント・システム、つまり実力相応のそのときどきの技量を反映するハンディキャップ・システムがJGAのハンディキャップなのである。

ゴルフが特定の人たちの遊びであった時代から今は大衆スポーツの花形として生れ変わった時代でもある。俱楽部はマンモス化し、その会員数も2000名を超す俱楽部も年々増加している。かつて会員のハンディキャップを算出するためには、基本はJGAのディファレンシャル表に基いて行われ、委員たちの合議制でその会員のハンディキャップが決定していた。とにかく人為的作業の弊害が

	グリーンシステムによる現行ハンディキャップ取得方法	扶桑カントリー俱楽部のシステムによるハンディキャップ取得方法
登録	申し込みより約1ヶ月後登録完了通知。 (申し込み日によっては、2ヶ月になる場合有り)	申し込み日に登録完了。 (登録完了通知は、1ヶ月後計算センターより送られる)
スコアカード提出	登録完了通知到着後、提出。 (約1ヶ月後となる)	登録完了(即日)カード提出可能
HDCP計算通知	スコアカード5枚以上提出後センター計算、本人への通知は約1ヶ月から2ヶ月後となる。	スコアカード5枚以上提出後、即日算出本人へ掲示できる。 (JGA HDCP証明書は、1ヶ月後本人へ送付となる)
他コースカード提出	受理後、計算センターへ送付 各自ホームコースへ資料配布は、早くても1ヶ月、提出日によっては2ヶ月の時間がかかる。	*受理後計算センターへ送付と同時に当俱楽部をホームコースとしている会員は、その場で適切なるHDCPを計算掲示できる。 ※他にホームコースを有する会員は、送付後現在のシステムで取得することになる。 ※全国の加盟登録コースであれば、すべて計算できる。
カード送付方法	1ヶ月1回、宅急便で送付	NTT一般電話改選使用で即日送付可能
各証明書発行	月1回計算センターより俱楽部へ送付 ↓ 会員へ郵送	月1回計算センターより俱楽部へ送付 ↓ 会員へ郵送
経費計算	会員登録料 カード処理料 50、60円	会員登録料 カード処理料 30円 (経費が節約できる)

パソコンを利用した(オンラインによる) JGAハンディキャップ査定システム



問題になったものだが、たしかに何百、何千という会員の、しかも個々の技量や能力などを委員会が完全に把握することは困難だ。年齢や性別などあらゆるファクターが加味されて、委員会が算出した数値が必ずしも公平かつ適正なものかどうかの批判はいまでも残っているようだ。もともとカーレント・システムはその解決のために

考案されたものである。

ハンディキャップはゴルファーにとって大切なものであり、俱楽部ライフを豊かに楽しいものにすることに大きな意味を持っていることを忘れないでほしい。コンピューターのオンライン化に成功した一つの例をとりあげながら、関心のある方はぜひ一度見聞されることをおすすめしたい。

ゴルフQ&A

番外篇

ゴルフは“虞犯”的ゲームである

きわめて基本的な質問をいたします。よくゴルフは“紳士のゲーム”であり、スコアは“自主申告”と言われております。それなのに、競技の際になぜ“マーク”が必要なのでしょうか。また、なにゆえに複雑なルールを定めているのでしょうか。

「埼玉県の素朴なゴルファー」さんよりこんな質問が舞い込みました。

これまで、この企画はいわばこまかいルールの解説、裁定が中心でしたので盲点をつかれた感じがいたしました。

この問題は、いわば「ルール文化論」ともいうべきもので、仲々明快な答えは出しにくいと思われます。今後、広く有識者の皆さんに問いかけるつもりでおりますが、先ず杉山通敬氏（ゴルフ評論家、KGA広報委員）に私見を求めました。

イラスト・山県和彦

ゴルフのルールは解りにくいという人が多い。なにを隠そう、わたしもその1人である。第1章の「エチケット」と第2章の「用語の定義」ぐらいはどうにか半知半解の域を脱したものの、第3章の「プレーに関する規則」となるとまことに心もとない。プレー中に起るさまざまなルールの問題に対して、ルールブックから該当条文を引き出し、即座に解決するという芸当はいまもって出来かねる。そういう人間がなんの恥じらいも、危惧も抱かずにプレーしているのだから、思えばまことにオソロシイ。

ところが、ある高名なアマチュア氏（特に名を匿

す）にそのことを言うと、わたしだってそうですよ、という返事。だけど、たった一つだけ守るように心掛けている、と。それは“あるがまま”的ポールをプレーすること、自然の状態をそこねることなくプレーすることだ、と言う。“Play the ball as it lie”そのいち事を守り通してさえいれば、細かい条文をいちいち覚える必要はないので、半ばタカを括っているということだった。それを聞いて、一気に迷妄が解けたように思った。

原則を守れば、全条文は空文となる？

ゴルフは発祥以来、そのことをプレーの原則にして来たと言ってよく、その原則の前では全ての条文は空文に等しい。もっと言えば“あるがまま”的ポールをプレーしないようなゴルフは、ゴルフではないと極論してもよかろう。そして、ゴルフが堕落しているとすれば、ルールブックを頼りになんとかして、ポールを動かしたり、自然の状態をそこねたり



してプレーしようとする、その原則無視のゴルファーが多くなって来たからに違いない。

浅学非才の身でこんなことを言えば物笑いの種になるけれど、ある意味で、ゴルフは虞犯のゲームである。つねに罪をおかしかねない自分に対して戦々恐々とプレーしている。広大無辺の、しかも、起伏あり、林あり、バンカーあり、石ころがあり、枝の切れ端や落ち葉が散らばっているフィールドが競技場なのだからライは千变万化する。ほんの少しうごかせば、打ちにくいライが打ちやすくなる。その誘惑たるや、お金を前にした盗人の心境もかくやと思われるほどで、ひと目を盗んで動かしたいと思いつづプレーしているのではないか。そこまでいかないとしても、ルールをうまく利用すれば、どこかの条文に“動かしてもよい”と書いているのではないか、と牽強付会の解釈をする。いずれにしても“あるがまま”的ポールを打ちやすい状態にしたいという心根からすれば、虞犯性を帯びていると言わねばなるまい。

言い方を変えれば、この誘惑に一度たりともかられたことのない人はゴルファーとはいえないし、また、この罪を一度でも犯した人も、ゴルファーといえないのである。

いつなんどき罪を犯すかもしれない自分を戒めつつプレーしている。しかし、翻って考えればそんな恐れを抱きながらプレーするくらいならゴルフなどやらなければいいのだ。

いつだったか、曾野綾子さんが自民党のお偉方を前に「ヒキヨウ者でもウソつきでも、どうにか勤まる職業に転職したらどうか」と演説して、市民の人々から拍手喝采を浴びたけれど、“あるがまま”的ポールをプレーすることをこころよしとしないなら、ゴルフから足を洗ったほうがよい。

ゴルファー像は何を語っているか

余談になるが、ゴルフ最古の物的資料はイギリスの古都グロースター市に、1350年に建立された寺院のステンドグラスに描かれた「ゴルファー像」（廣野ゴルフ俱楽部内にあるゴルフミュージアムにその複製が飾られている）ということになっている。少年とおぼしき人物がクラブを振り上げ、ポールを打

とうとしている図柄である。教会のステンドグラスに、どういう理由で「ゴルファー像」が飾られたのか、それこそいささか牽強付会になるかもしれないけど、わたしはつぎのように愚考する。中世の人々が何事によらず、神に誓って事に当たっていた。例えばヨーロッパ中世の家具職人はテーブルの端に彫刻をほどこすとき、表と同じように裏側にも同じ模様を彫りつけたという。神の目は人目につかないところまで見通すと思い、手抜きはしなかったのだそうである。ゴルファーもまた、神に背くようなことはするまいぞ、と心に誓ってプレーしていたにちがいない。その誓約の証しに「ゴルファー像」をステンドグラスにして教会に寄進したのではあるまいか。

今日はゴルフ、という日には罪の誘惑に負けないように祈りを捧げたかもしれない。誓いを立てたかもしれない。

先のアマチュア氏はいみじくも言ったものである。アンプレヤブルのルールだけあればいい、と。どうしても“あるがまま”に打てないのなら、潔くアンプレヤブルを宣言すればルールの晦渧は一気に解ける、と。

ゴルフのルールはたしかに解りにくい。しかし、これほど単純明解なルールを持つ球戯もまたないのであるまい。“あるがまま”的ポールと自然を相手にプレーすればよいのだから。



新規加盟倶楽部紹介

鷹ゴルフ倶楽部



1. 倶楽部名 鷹ゴルフ倶楽部

住所 栃木県上都賀郡栗野町大字深程1648
電話 0289-85-3621

2. 開場年月日 昭和56年9月25日

3. 理事長名 (代行) 佐藤充雄 昭和10年2月23日生

俱楽部代表者 佐藤充雄 清水幸雄

4. 倂楽部分科委員長名

競技委員長 清水幸雄

コース委員長 市川金次郎

ハンディキャップ委員長 高橋潔

フェローシップ委員長 大橋浩

ハウス委員長 高野昭一

5. 支配人名 諸岡佑介 昭和13年4月30日生

6. 倂楽部概要

当俱楽部は、東北自動車道栃木ICより16kmの森林の町「栗野町」にあり、町道より約100mの交通至便の丘陵地にあります。コースは全体にフラットで、フェアウェイは広く、コース間のインターパルは短く、特に女性と年配者に喜ばれています。グリーンは、ベンクロス、ペントの2グリーンであり、年間を通してフェアなパッティングが期待されます。18ホールのナイター設備は、4月中旬より10月中旬までの金・土・日にご利用頂けます。特に夏場におけるナイターは、爽快感と共にライトに浮かび上がったグリーン、フェアウェイが別世界の幻想的なムードを感じさせます。又、名物行事となった「あやめ祭」はOUT<INコース間に流れる約400mの小川に130種類の5000本のあやめが植えられ、開花時期の6月に、メンバーファミリーを招待して盛大に行われます。クラブハウスはプレイヤーの触れ合いの場として、コミュニケーションがスムーズに運ぶよう、「ハートのあるゴルフ場」を俱楽部のモットーとして心から接客に努めています。食堂では、四季折々の地元産出の

材料を中心とした料理や、手打を実演しての手打そばは特に好評を受けています。その他、スタートイングホールでのティショットをビデオ撮影し、プレー後、専属の久米プロによる一口レッスンもなかなかの人気があります。

中央都留カントリー倶楽部



1. 倂楽部名 中央都留カントリー倶楽部

住所 山梨県都留市大幡舟井沢3036
電話 0554-45-1261

2. 開場年月日 昭和54年10月18日

3. 理事長名 加藤六月 大正15年6月17日生

クラブ代表者 大西一

4. 倂楽部分科委員長名

競技委員長 高村嘉勉雄

ハンディキャップ委員長 藤崎順之

ハウス委員長 高尾利夫

エチケット委員長 富沢一郎

キヤディ委員長 中村万寿夫

5. 支配人名 和田俊雄 昭和6年11月20日生

6. 倂楽部概要

都心から中央高速自動車道にて90分。都留ICからコースまで5分と日帰りプレーに最適のコースです。

昭和54年10月18日に開場し、今年で10周年を迎えるコースコンディションも落ち着き、お客様に御好評を受けておりますが、より一層のグレードアップをはかるためオールサンドグリーンに改造し、コースの大幅な拡張を行っております。

コースは全ホールから富士山を望むことができ、トリッキーなわりにホール自体はフラットにできています。

経営母体は、日本ゴルフ振興株式会社で全国27カ所のチェーンコースを持ち、現在2カ所を造成中です。又、中国に2カ所、タイに1カ所、ブラジルに1カ所のコースをもっており、その他に、北海道カ

新規加盟倶楽部紹介

マイスキーリングス、沖縄サンマリーナホテル、韓国ハンティング場、病院経営をも行い四国には西日本最大のレジャーランドを建設中です。

潮来カントリー倶楽部



1. 倂楽部名 潮来カントリー倶楽部

住所 茨城県行方郡潮来町築地700
電話 0299-67-5051

2. 開場年月日 昭和62年11月21日

3. 理事長名 糸山英太郎 昭和17年6月4日生
俱楽部代表者 糸山英太郎 猪川幹夫

4. 倂楽部分科委員長名

競技委員長 田村一爾

ハンディキャップ委員長 越智郁郎

フェローシップ委員長 上野久徳

プロ・キヤディ委員長 久保田昭衛

コース委員長 江藤隆美

ハウス委員長 藤本考雄

5. 支配人名 猪川幹雄 昭和7年8月26日生

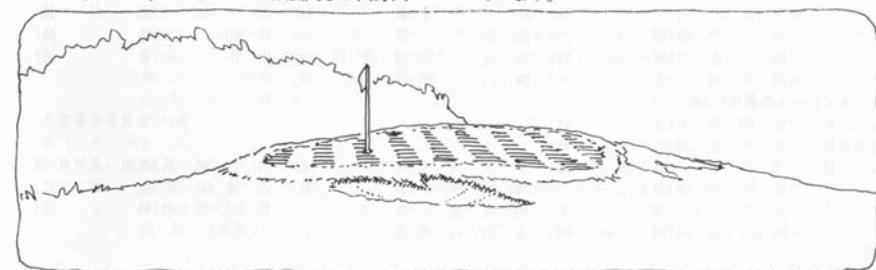
6. 倂楽部概要

霞ヶ浦、北浦、そして利根川水系のゆったりと豊富な流れに三方を囲まれた、水郷、潮来。その高台に広がる約32万坪の敷地を利用した18ホールのコースは、設計者 大久保昌氏によれば、「各ホールの距離をたっぷりと確保した上で、完全にセパレートし、ショートホール、ロングホールは風向きが同方向に

ならないように配置した。また、バンカーやハザードがブラインドにならないようにするとともに、池やグラスバンカーを適確に配することで、高度な戦略性にアクセントを加えた。

ティグランドは、距離のあるホールでは、4面を配置して、どのティを選ぶかでコース攻略法が変わってくるようにした。そして、グリーンは一つのターゲットにするというゴルフ本来の意味と、芝のメンテナンスを考え、ペントグリーンに高麗グリーンをエプロンのように接続させた。なお、グリーンはUSGA方式のサンドにベンクロススペントで仕上げた。バンカーは海砂と大理石粒をミックスすることで、「目玉」が生じにくく、工夫し、各ホールとも、ゴルファーをとまどわせるようなトリッキーな仕掛けや結果オーライというものをなくし、それぞれの飛距離、球筋、攻め方に応じて戦略ルートが見い出せるよう設計した」との言葉通りのコースとなっています。また、クラブハウスは「余裕」をテーマといたしました。延べ1,092坪の床面積に銅葺き屋根の和風調の外観は年月を重ねるほど風格を偲ばせるようになります。玄関ホールやラウンジ、ダイニングルーム、ロッカールームなどは、いずれも天井が高く広々としており、設備、調度も本物の落ちていたものだけを吟味しました。また、女性のためのロッカールームや、バスルームなどに広いペースを確保しています。また、ご賞味いただく食事も水郷・潮来にふさわしい和食を主に、季節季節の旬の味を生かしたメニューを用意しております。

交通は、東関東自動車道の終点潮来ICから4.5kmであり、東京都心からゴルフ場までの所要時間は約1時間15分ほどです。尚、昭和63年末から9ホールの増設工事をいたしており、本年度秋には完成を予定しています。



平成元年度役員・理事・分科委員一覧

平成元年関東ゴルフ連盟役員表(ABC順)

理事長	細川護貞(東京)	中井文治(東京)	福田彰(関越ハイランド)
副理事長	武内俊三(武藏)	正男(源訪湖)	古茶一之(草津)
常務理事(14名)	相山武夫(横浜)	藤原正男(源訪湖)	松野京三(ザ・レイクス)
	勝又豊次郎(袖ヶ浦)	*北村順則(ザ・サンクロス)	斎藤文志郎(フォレスト)
	古賀始(茨城)	小山賢之助(青梅)	秀夫(武藏)
	松浦均(習志野)	尾閑秀夫(武藏)	斎藤文志郎(フォレスト)
	*滝沢武(都賀)	田中經策(グリーンバレー)	
理事(27名)	海老原亀久寿(水戸グリーン)	*福田国三(浜松シーサイド)	林和雄(桜丘)
	*神場多巳一(那須小川)	金丸富夫(手取河)	河西幹一(セントラル)
	河尻昭一(鶴舞)	小林金太郎(小田原湯本)	小宮山義孝(総武)
	桑原正明(美野原)	三木春逸(鷹之台)	蜜沢正吾(松本)
	*盛川誠二(宇都宮)	森村太華生(程ヶ谷)	松貴彦(沼津)
	*南学正昭(ミナミ菊川)	鬼沢忠治(白帆)	大坪成彬(新千葉)
	佐久目晋三(長岡)	*庄野五一郎(飯能)	*鈴木章司(豊岡国際)
	竹井博友(郡須チサン)	井英二(霞ヶ関)	*野馬好次郎(甲府国際)
	*内田盛雄(相模)	*吉原武(日光)	吉澤兵左(唐沢)
監事(2名)	岩本勇(那須)	三嶋栄(川崎国際)	
顧問(3名)	天野健雄(嵐山)	西野謙介(愛鷹)	鈴木太郎(相模)

平成元年関東ゴルフ連盟分科会委員名簿

競技委員会(40名)	古賀始(茨城)	安寿(武藏)	山田八郎(東名)	均(習野)
委員長	古賀始(茨城)	安寿(武藏)	山田八郎(東名)	均(習野)
副委員長	河西幹一(セントラル)	井根(横浜)	平田敬量(千葉)	志(武)
委員	*新井昌男(大利根)	*新井安寿(武藏)	山田八郎(東名)	武(横浜)
	安藤功(東名)	土井穎嗣(横浜)	平田敬量(千葉)	武(横浜)
	平山誠一(江戸崎)	本多隆将(東京)	市川一夫(伊香保)	武(横浜)
	*坂塚賢治(府中)	川島英雄(高坂)	北村昭夫(東京国際)	武(横浜)
	小池尚(ザ・サンクロス)	紅雲昭通(筑波)	小山敏男(青梅)	武(横浜)
	楠本陽一郎(日光)	上康次(我孫子)	湊義夫(龍ヶ崎)	武(横浜)
	野口正三(桜丘)	野本俊夫(袖ヶ浦)	大出正義(新千葉)	武(横浜)
	大久保幸次(日高)	大島義治(岡部チサン)	折井政信(總高)	武(横浜)
	織戸聰三郎(愛鷹)	閻龍太郎(東宇都宮)	野幸三(箱根)	武(横浜)
	*竹下修一(平塚富士見)	村谷圭司(川崎国際)	田辺嘉一(飯能)	武(横浜)
	渡邊満之助(船橋)	*山田武男(白帆)	山本和夫(浜松シーサイド)	武(横浜)
	山崎博靖(富士)	山崎宣彦(霞ヶ関)	山崎滋男(スカイウェイ)	武(横浜)
	矢野隆男(富士小山)	*吉野統治(戸塚)		

ハンディキャップ委員会(20名)	福田彰(関越ハイランド)	渡邊満之助(船橋)	古賀始(茨城)
委員長	福田彰(関越ハイランド)	渡邊満之助(船橋)	古賀始(茨城)
副委員長	古茶一之(草津)	小林金太郎(小田原湯本)	桑原正明(美原)
委員	斎藤文志郎(フォレスト)	井原英正(袖ヶ浦)	*服部真吾(沼津)
	古澤兵左(唐沢)	町田孝平(長野)	三宅通順(都賀)
	*笠原貞夫(日高)	野宏一(鷹之台)	寺田勇(鷹舞)
	宮元昭雄(総武)	*閻根宏一(鷹之台)	鶴島保(棚倉)
	個恭男(習志野)	鶴島保(棚倉)	山田八郎(東名)
	*山本泰明(セントラル)	横内宏明(昇仙峡)	

コース・レート委員会(13名)	尾閑秀夫(武藏)	室秀夫(東京)	前川武英(成田ハイツリー)
委員長	新井安寿(武藏)	諸戸精孝(霞ヶ関)	内藤正幸(桜丘)
副委員長	北村昭夫(東京国際)	小室秀夫(東京)	内藤正幸(桜丘)
委員	松岡和歲(東京よみうり)	戸精孝(霞ヶ関)	阪田哲男(袖ヶ浦)
	中野弘治(美蓉)	正風(嵐山)	
	*佐久間義雄(姫崎)	吉田八郎(長竹)	

平成元年度役員・理事・分科委員一覧

月例競技委員会(11名)	委員長 松野京三(ザ・レイクス)	副委員長 山崎宣彦(霞ヶ関)	委員 松岡和歲(東京よみうり)*本岡田光正(嵐山)	島英維(高砂) 中野弘治(芙蓉)
	委員 関山大久保	大久保	大久保	高砂
	坂嶋人(青梅)	嶋人(青梅)	嶋人(青梅)	高砂
ジュニア委員会(24名)	委員長 斎藤文志郎(フォレスト)	副委員長 大鷲俊朗(紫塚)	委員 *榎本小出一光(塚崎)	田辺嘉一(飯能) 寺崎小山敏男(青梅)*松井義明(日高)
	森肇(筑波)	大鷲俊朗(紫塚)	森肇(筑波)	寺崎小山敏男(青梅)*松井義明(日高)
	根本太渕(水戸)	大鷲俊朗(紫塚)	根本太渕(水戸)	寺崎小山敏男(青梅)*松井義明(日高)
	大竹徹(高根)	大鷲俊朗(紫塚)	大竹徹(高根)	寺崎小山敏男(青梅)*松井義明(日高)
	嶋田憲人(青梅)	大鷲俊朗(紫塚)	嶋田憲人(青梅)	寺崎小山敏男(青梅)*松井義明(日高)
ジュニア女子委員会(10名)	委員長 新田佐喜子(藤岡)	副委員長 *竹井博友(那須チサン)	委員 *舟橋一芳(江戸崎)	石川博英(嵐山)
	森山通敬(杉山)	舟橋一芳(江戸崎)	森山通敬(杉山)	石川博英(嵐山)
	坂本章一(霞ヶ関)	舟橋一芳(江戸崎)	坂本章一(霞ヶ関)	石川博英(嵐山)
広報委員会(10名)	委員長 *竹井博友(那須チサン)	副委員長 深井昌司(阪能)	委員 *舟橋一芳(江戸崎)	片山山晴美(越生)
	森山通敬(杉山)	舟橋一芳(江戸崎)	森山通敬(杉山)	片山山晴美(越生)
税対策委員会(20名)	委員長 松浦均(習志野)	副委員長 小宮山義孝(総武)	委員 相山武夫(横浜)	古茶一之(草津)
	坂本章一(霞ヶ関)	小宮山義孝(総武)	坂本章一(霞ヶ関)	古茶一之(草津)
	坂勝又(豊次郎)	坂本章一(霞ヶ関)	坂勝又(豊次郎)	古茶一之(草津)
グリーン委員会(19名)	委員長 古賀始(茨城)	副委員長 小宮山義孝(総武)	委員 *海老原亀寿(水戸グリーン)	佐久目晋三(長岡)
	坂本章一(霞ヶ関)	坂本章一(霞ヶ関)	坂本章一(霞ヶ関)	佐久目晋三(長岡)
	坂勝又(豊次郎)	坂本章一(霞ヶ関)	坂勝又(豊次郎)	坂本章一(霞ヶ関)
グリーン委員会(19名)	委員長 古賀始(茨城)	副委員長 小宮山義孝(総武)	委員 *海老原亀寿(水戸グリーン)	佐久目晋三(長岡)
	坂本章一(霞ヶ関)	坂本章一(霞ヶ関)	坂本章一(霞ヶ関)	佐久目晋三(長岡)
	坂勝又(豊次郎)	坂本章一(霞ヶ関)	坂勝又(豊次郎)	坂本章一(霞ヶ関)
コース選定委員会(16名)	委員長 武内俊三(武藏)	副委員長 中井博文(東京)	委員 相山武夫(横浜)	古賀始(茨城)
	坂本章一(霞ヶ関)	坂本章一(霞ヶ関)	坂本章一(霞ヶ関)	古賀始(茨城)
	坂勝又(豊次郎)	坂本章一(霞ヶ関)	坂勝又(豊次郎)	古賀始(茨城)
入会審査委員会(11名)	委員長 *中井文治(東京)	副委員長 *相山武夫(横浜)	委員 藤原薰(柳原)	柳久
	坂本章一(霞ヶ関)	坂本章一(霞ヶ関)	坂本章一(霞ヶ関)	柳久
	坂勝又(豊次郎)	坂本章一(霞ヶ関)	坂勝又(豊次郎)	坂本章一(霞ヶ関)

月例競技委員会(11名)	委員長 松野京三(ザ・レイクス)	副委員長 山崎宣彦(霞ヶ関)	委員 関山大久保	坂嶋人(青梅)
	委員 関山大久保	坂嶋人(青梅)	坂嶋人(青梅)	坂嶋人(青梅)
	坂嶋人(青梅)	坂嶋人(青梅)	坂嶋人(青梅)	坂嶋人(青梅)
ジュニア委員会(24名)	委員長 斎藤文志郎(フォレスト)	副委員長 大鷲俊朗(紫塚)	委員 *相山正風(源詮)	坂嶋人(青梅)
	森肇(筑波)	大鷲俊朗(紫塚)	森肇(筑波)	坂嶋人(青梅)
	根本太渕(水戸)	大鷲俊朗(紫塚)	根本太渕(水戸)	坂嶋人(青梅)
	大竹徹(高根)	大鷲俊朗(紫塚)	大竹徹(高根)	坂嶋人(青梅)
	嶋田憲人(青梅)	大鷲俊朗(紫塚)	嶋田憲人(青梅)	坂嶋人(青梅)
ジュニア女子委員会(10名)	委員長 新田佐喜子(藤岡)	副委員長 *竹井博友(那須チサン)	委員 *舟橋一芳(江戸崎)	石川博英(成田ハイツリー)
	森山通敬(杉山)	舟橋一芳(江戸崎)	森山通敬(杉山)	石川博英(成田ハイツリー)
	坂本章一(霞ヶ関)	舟橋一芳(江戸崎)	坂本章一(霞ヶ関)	石川博英(成田ハイツリー)
	坂勝又(豊次郎)	舟橋一芳(江戸崎)	坂勝又(豊次郎)	石川博英(成田ハイツリー)
広報委員会(10名)	委員長 *竹井博友(那須チサン)	副委員長 深井昌司(阪能)	委員 *舟橋一芳(江戸崎)	石川博英(成田ハイツリー)
	森山通敬(杉山)	舟橋一芳(江戸崎)	森山通敬(杉山)	石川博英(成田ハイツリー)
	坂本章一(霞ヶ関)	舟橋一芳(江戸崎)	坂本章一(霞ヶ関)	石川博英(成田ハイツリー)
	坂勝又(豊次郎)	舟橋一芳(江戸崎)	坂勝又(豊次郎)	石川博英(成田ハイツリー)
税対策委員会(20名)	委員長 松浦均(習志野)	副委員長 小宮山昭雄(総武)	委員 *舟橋一芳(江戸崎)	片山山晴美(越生)
	森山通敬(杉山)	舟橋一芳(江戸崎)	森山通敬(杉山)	片山山晴美(越生)
	坂本章一(霞ヶ関)	舟橋一芳(江戸崎)	坂本章一(霞ヶ関)	片山山晴美(越生)
	坂勝又(豊次郎)	舟橋一芳(江戸崎)	坂勝又(豊次郎)	片山山晴美(越生)
入会審査委員会(11名)	委員長 *中井文治(東京)	副委員長 *相山武夫(横浜)	委員 藤原薰(柳原)	柳久
	坂本章一(霞ヶ関)	坂本章一(霞ヶ関)	坂本章一(霞ヶ関)	柳久
	坂勝又(豊次郎)	坂本章一(霞ヶ関)	坂勝又(豊次郎)	坂本章一(霞ヶ関)

総会・理事会・委員会

平成元年2月22日
加盟俱楽部殿
関東ゴルフ連盟
理事長 細川護貞

第41回通常総会 議事録

第41回通常総会は、平成元年2月22日(水)午前10時30分より、東京都千代田区紀尾井町4-1ホテルニューオータニにおいて開催された。出席は、加盟俱楽部387会員、委任状を併せて314俱楽部、上程された各議案を慎重審議の結果、次記の通り議決された。

記

理事長細川護貞が議長となり、本総会は規約に照らし適法に成立した旨を宣言し、ただちに議案審議に入る。

第1号議案 「昭和63年度事業報告、ならびに決算の承認を求める件」

細川理事長より63年度事業報告の後、議長の指名を浮け、事務局長決算報告。報告後、岩本監事から、理事会より提出された議案内容について諸報薄・関係書類について精査したところ、いずれも適法かつ正確であることを認めめた旨、監査報告があり、全員異議なく原案通り承認可決した。

第2号議案 「平成元年度予算案の承認を求める件」

予算の概略について、武内副理事長より説明、提案がなされ、原案通り承認可決した。

第3号議案 「(財)日本ゴルフ協会第2期決算、ならびに第3期事業計画、予算に関する件」

事務局長より平成元年度、事業計画および、予算については、昭和63年12月15日の(財)日本ゴルフ協会理事会において審議、決定し、すでに加盟俱楽部に送付済みであること、また、63年度の決算については、平成元年2月28日に開催される理事会において、審議、決定をみる予定であるとの報告がなされ、全員これを承認した。

第4号議案 「役員全員任期満了につき改選の件」

細川議長は「加盟規約第14条、および細則第1条」に基づき、出席の俱楽部代表者より次記11名を「理事候補推薦委員」に指名、全員異議なくこれを承認した。斎藤文志郎、藤原正男、田中経策、福田彰、滝沢 武、古賀 始、武内俊三、松

浦 均、林 和雄、相山武夫、北村順則以上11名は別室においてただちに「理事候補推薦委員会議」を開き(この間総会は休憩)、次記4名の候補を推挙した。

新潟県 斎藤文志郎(フォレストゴルフクラブ)

佐久日晋三(長岡カントリー俱乐部)

長野県 藤原正男(諏訪湖カントリークラブ)

蜜沢正吾(松本カントリークラブ)

山梨県 田中経策(カントリークラブグリーンバレー)

対馬好次郎(甲府国際カントリークラブ)

群馬県 福田 彰(関越ハイランドゴルフクラブ)

古茶一之(草津カントリークラブ)

桑原正明(美野原カントリークラブ)

栃木県 滝沢 武(都賀カントリー俱乐部)

吉澤兵左(唐沢ゴルフ俱楽部)

盛岡徳二(宇都宮カントリークラブ)

吉原 武(日光カントリークラブ)

竹井博友(那須チサンカントリークラブ)

神場多巳一(那須小川ゴルフクラブ)

茨城県 古賀 始(茨城ゴルフ俱楽部)

河西幹一(セントラルゴルフクラブ)

金丸富大(取手国際ゴルフ俱楽部)

海老原龟久寿(水戸グリーンカントリークラブ)

鬼沢忠治(白帆カントリークラブ)

埼玉県 細川護貞(東京ゴルフ俱楽部)

武内俊三(武藏カントリークラブ)

玉井 英二(霞ヶ関カントリー俱乐部)

庄野五一郎(飯能ゴルフクラブ)

千葉県 勝又 豊次郎(袖ヶ浦カントリー俱乐部)

松浦 均(習志野カントリークラブ)

小宮山義孝(總武カントリークラブ)

大坪 成彬(新千葉カントリー俱乐部)

河尻昭一(鶴舞カントリー俱乐部)

三木春逸(鳩之台カントリー俱乐部)

東京都 小山賢之助(青梅ゴルフ俱乐部)

林 和雄(桜ヶ丘カントリークラブ)

神奈川県 相山 武夫(横浜カントリークラブ)

小林金太郎(小田原湯本カントリークラブ)

内田盛雄(相模カントリー俱乐部)

森村太生(程ヶ谷カントリー俱乐部)

北村順則(サザンクロスカントリークラブ)

村松貴巳彦(沼津ゴルフクラブ)

福田国三(浜松シーサイドゴルフクラブ)

鈴木 章司(豊岡国際カントリークラブ)

南学昭暗(ミナミ菊川カントリークラブ)

再開された総会にて、議長は、上記の候補者は各都県総意として選ばれたものと判断し、平成元年、2年度を任期とする新理事に選任したいとの提案、全員異議なく承認可決した。

ここで議長は、新任の理事による理事長互選のための会議をただちに開くことを指示、また、学識経験理事および監事については、新理事長に指名一任されることを提案し、全員異議なく賛成した。

総会休憩の間、別室において新理事互選の結果、理事長には細川護貞が選任され、ただちに総会に報告された。

細川新理事長が議長となり議事を再開。

学識経験理事、監事については、次記の諸氏を指名し、全員これを承認した。

学識経験理事 松野京三(カントリークラブ・ザ・レイクス)

中井文治(東京ゴルフ俱楽部)

尾閑秀夫(武藏カントリークラブ)

監 事 岩本 勇(那須ゴルフ俱楽部)

三嶋 実(川崎国際カントリー俱乐部)

第5号議案 「平成元年、2年度を任期とする(財)日本ゴルフ協会理事、監事、評議

総会・理事会・委員会

員の推薦に関する件

細川理事長に指名一任されることを提案し、全員異議なく賛成、議長は次記の諸氏を指名し、これを承認した。

連盟推薦理事候補者

細川護貞、武内俊三、福田 彰、勝又豊次郎、古賀 始、中井文治

連盟推薦監事候補者

岩本 勇

連盟推薦評議員候補者

山田正彦(諏訪湖カントリークラブ)

堀切治雄(龍ヶ崎カントリー俱乐部)

藤井英男(桜ヶ丘ゴルフクラブ)

全議事の審議終了後、元理事長高田市太郎氏、理事山本光春氏、森井誠治氏を追悼し、全員一分間に黙禱を捧げた。また理事長は、前年をもって退任された、佐藤と三郎氏、木村壽氏、川村裕二氏、長澤泰治氏、大倉徳治氏の諸氏に多年にわたった尽力に謝辞を述べた。

以上をもって、議長は11時20分閉会を宣した。

平成元年度第1回理事会 議事録

日 時 平成元年2月22日(水)午後12時45分

場 所 ホテルニューオータニ「もの間」

出席者 細川理事長、斎藤、佐久、藤原、蜜澤、田中、桑原、古茶、福田(彰)、

神場、滝沢、竹井、盛川、吉澤、

吉原、海老原、鬼沢、河西、金丸、

古賀、庄野、武内、勝又、河尻、

小宮山、松浦、三木、林、相山、

内田、小林、北村、鈴木、南学、

福田(国)、村松、各理事

尾閑、中井、松野、各監事

細川理事長、議長を務め、12時45分閉会

を宣し、順次議題審議を行った。

—討議及び決議事項—

1. 平成元年、2年度常務理事選任の件

選任方法については、議長一任との提案がなされ、全員賛成。議長は次記の諸氏を指名し、これを承認した。

2. 平成元年、2年度副理事長選任の件

選任方法については、議長一任との提案がなされ、全員賛成。議長は、武内俊三、中井文治氏を指名し、全員これを承認した。

宣し、順次上程された議題審議を行った。

—討議及び決議事項—

1. 平成元年度、各分科委員会副委員長及び委員選任の件

武内副理事長より、3月8日開催の委員長会議における選考経過の説明があり、別紙の案が上程された。慎重審議の結果これを承認した。(16-17頁参照)

2. 平成元年度、上期主催競技実施規定の件

古賀委員長より、主な改正事項の説明がなされ、これを承認した。改正事項は以下のとおり

- ①参加ハンドィキャップを
- 関東女子 JGAハンドィ20を18(未実施クラブは16)
- 関東アマ JGAハンドィ9を8(未実施クラブは7)
- 尚、入会審査委員会は、これまでの新規加盟申請俱楽部の審査に加えて、(財)日本ゴルフ協会普通会員の入会審査も行うこととなった。

これは、JGA競技委員会の決定に従つたものである。

- ②競技参加料は消費税が課されるので、関東アマ、女子の20,000円を20,600円とする。

俱楽部対抗は、150,000円を154,500円とする。

3. 競技参加費等に係る消費税の件

事務局長、元年度予算をもとにした試算を説明し、上記の件については外税方式でいくことを提案、全員これを承認した。

4. (財)日本ゴルフ協会ジュニア会員について

事務局長より、現状報告の後、「武藏カントリークラブ」をモデルとしたプランを説明、出席理事へアピールした。

また、武内副理事長からも同様の強い要請がなされ全員賛同した。

5. 役員、委員の出張手当について

事務局より、各地区連盟の実情を調査し、改正案を作成し、後日提案することを報告、これを全員承認した。

以上をもって、全議題の審議を終了、細川議長13時20分閉会を宣した。

平成元年度第2回理事会 議事録

日 時 平成元年3月22日(水)正午

場 所 日本ゴルフクラブ会館「さくらの間」

出席者 細川理事長、武内副理事長、相山、

福田(彰)、勝又、北村、古茶、古

賀、小山、松野、三木、斎藤、滝

沢、田中、各常務理事

海老原、神場、河西、小林、小宮

山、桑原、蜜澤、盛川、南学、大

坪、鈴木、竹井、吉澤、各理事

岩本、三嶋、各監事

細川理事長、議長を務め、12時30分開会を

63年度第3回競技委員会 議事録

日 時 昭和63年11月11日(金)15時30分

場 所 茨城ゴルフ俱楽部 会議室

出席者 古賀委員長、安藤、新井(昌)、新

井(安)、土井、平山、市川、川島、

北村、小池、紅露、小山、楠本、

総会・理事会・委員会

大出、大久保、大島、織戸、関谷、
瀧野、田辺、山田、山崎(博)、矢
野 各委員

—討議及び決議事項—

1. 63年度 連盟主催競技総括

古賀委員長より、次記の総括報告が行
なわれた。

各委員の協力を得、63年度連盟主催競
技は無事に終了した。年々、競技参加者
は増加しているが、来年度も今度同様に
円滑な運営を期したいので、協力いただ
きたい。

2. 64年度 連盟主催競技について

①HDCPについて

JGAから、各地区連盟の競技参加のJGA・
HDCPを統一しない旨の提案を受け、
KGA主催競技のHDCPを下記のように変
更することを全員了承した。

関東アマ 現行9を8、関東女子現行20
を18とする。

②シニアの年齢について

シニアの競技参加者年齢については、現
在、競技当日満60歳と規定しているが、
JGA競技委員会から「当該年に満60歳に
達する者」と改定したいとの提案があつた。
これをうけ、当連盟としても特別問
題ないとし、全員、了承した。

③関東アマ決勝シードかおよび予選通過者
人数

現行の5ブロックの場合、各ブロック20
位タイが予選通過者としているが、64年
度より、参加者増のため6ブロック制を
とることになった。そのため、各ブロッ
ク予選通過者人数と月例競技からの決勝
シード人数(現行40位)について、事務
局より問題提起され、下記のような意見
が提出された。

・月例の上位40位というには、ある程度、
減数されることはあるが、得ないと思う。
しかし、毎月に参加する選手の多くは、
関東アマの予選のつもりで参加している。
また、技術およびモラルもアップしてお
り、その点も考慮願いたい。

・各ブロックの予選通過者を極端に減ら
すこと、参加人数が少なくなることもよそ
うされるので、慎重に検討されたい。

・今後の課題として、第1次予選、第2
次を行うことも考えたらどうか。

・上記の発言を受け、委員長は、「競技。
月例両委員長が話し合い、適正人数を合
意した上で、理事会に上程することとし
たい」と提案、全員これを了承した。

④担当班について

今年度と同様に1班(栃木、茨城、千葉
地区)、2班(埼玉、東京地区)3班(神
奈川、静岡地区)とし、特に1班の担当
が多いので担当班以外でも協力願いたい
旨、委員長より要請があった。

64年度日程については、前回委員会
で決定されたが、その後、東京ゴルフ俱
楽部より諸般の事情により辞退したいと
の申し出があり、日程を別紙のとおり変
更した。

5. 参加規定改正について

討議に先立ち、川島副委員長より、11
月11日に行われた競技委員会の報告が以
下のようになされた。

「関東アマ予選は、現行の5ブロックよ
り6ブロックになり、各ブロックの予選
カットラインも20位から17位に変更する
予定である。

また、参加HDCP資格もJGA(日本アマ
参加資格変更)に従い、現行の「9」よ
り「8」と、厳しくしていく方針である。

これに伴い月例委員会でも、関東アマ・
女子の決勝シード選手枠(男子40位、女
子10位)の削減を行って欲しいとの要請が
あった。」

これをうけ、松野委員長より、以下の
ような発言があった。

「当委員会としても、競技全般をうけも
つ競技委員会の考えは理解できるし、協
力したい。また、一度、両委員長で話し
合いをもち、その結果を委員会で慎重に
再検討し、理事会に上程したい。」

上記発言をもとに、各委員活発な意見
交換を行ったのち、別紙のとおり改正し
た。

ただし、関東アマ、関東女子決勝シード
選手枠については、もし今後、理事会
で変更になった場合、月例規定細則第8
項に従い、適時変更していくことを確認
した。

また、無断欠席者1名については、所
属俱楽部理事長あてに警告文を出すこと
にした。

エントリー数他は以下のとおり

開催日 昭和63年11月11日(金)
会場 東京ゴルフ俱楽部
エントリー 男子106名 女子56名
欠席者数 9名 2名
無断欠席 1名 0名
出場者数 96名 54名
科罰者 遅刻 3名
ミーティング欠席 2名
失格者 0名

—討議及び決議事項—

1. 12月度が競技報告及び総括
快晴、無風の絶好のコンディションで
あった。しかし、1番、10番のスタート
ホールは、距離もあり難しく、スタート
時間は30分遅れとなり、急振、インスタ
ートの2組をアウトに移行した。

2. 12月例出場者資格者の確認の件
YCCのHDCP資料提出が11月18日となっ
ているため、次回委員会にて報告するこ
ととなった。

3. 12月のテーマ
・ボール・マークの修復の徹底
・プレーの迅速化

4. 64年度開催俱楽部について
上記の件について、松野委員長より以下
の報告がなされた。

いづれにしても、参加者が170名をこえ

総会・理事会・委員会

となると、スタート時間を早めること
で対処せざるを得ないが、開催俱楽部に
迷惑をかけることになる。適正入数内に
おさめる具体策を考える時期と思われる。

エントリー数他は以下のとおり

開催日 昭和63年12月6日(火)

会場 龍ヶ崎カントリー俱楽部
エントリー 171名(男子116名、女子55
名)

欠席者数 事前連絡 10名(男子7
名、女子3名)

当日連絡 3名(男子の
み)

無断欠席 0名

出場者数 161名(男子109名、女子52
名)

科罰者 (遅刻2名、ミーティング
欠席5名)

失格者 0名

2. 12月及び1月例出場資格者確認の件
12月 男子530名、女子35名

1月度は、資料作成中のため次回委
員会に報告、以上を確認した。

3. 1月のテーマ

・ボール・マークの修復
・ティ・グラウンドの前方を横切ら
ない

4. その他

①1月度開催俱楽部は、程ヶ谷カント
リー俱楽部であるが、上着用(入
場時、着脱時)、スパイクでのクラブ
ハウス入場禁止の2点を特に注意す
べく「組合せ表」とともに別紙「注
意書」を付けることとした。

②64年度競技参加規定細則第4項参加
資格喪失については、11月度決定を
再確認した。

5. 63年度第10回月例競技委員会
議事録

日時 平成元年1月30日(月) 正午

会場 JGA会議室

出席者 松野委員長、山崎副委員長、
松岡、中野、岡田、大久保、岡野、
鳴田 各委員

関東学生ゴルフ連盟委員2名

—討議及び決議事項—

1. 1月度競技報告及び総括

山崎副委員長より下記の報告及び総括
がなされた。

昨夜來の雨、雪の為、開催が危ぶま
れたが、快晴の絶好なコンディション

で行えた。ただ、午後風が強くなり難
しかったかと思われる。優勝スコアは
男女ともまあまあかと考えるが、ショ
ートホールにおけるディップットの目土
等、また、クラブハウス入場時の注意
等、これからも注意指導が必要と思わ
れる事もあったが、無事終了すること
が出来た。

以上の総括を受け、松野委員長より、
以下の提案がなされ、全員確認、了承
した。

①今後の月例においても、クラブハウ
ス入場時の上着用の注意、及びス
パイク、運動靴での入場のチェック
等、マナーの順守について、受付時
に指導していかたい。

②女子についても、プレーの類いの
着用を励行する。

エントリー数他は以下のとおり

開催日 平成元年1月24日(火)

会場 程ヶ谷カントリー俱楽部

エントリー 155名(男子99名、女子56名)

欠席者数 事前連絡 9名(男子4名、
女子5名)

当日連絡 2名(男子2名)

無断欠席 0名

出場者数 144名(男子93名、女子51名)

科罰者 遅刻 0名

ミーティング欠席 2名

失格者 0名

2. 1月及び2月例出場資格者確認の件
1月 男子547名 女子243名

2月 男子550名 女子256名

以上を確認した。

3. 2月のテーマ

・ディップットの修復の徹底
・プレーの迅速化

4. その他

①関東学生ゴルフ連盟への要請
平成元年、関東学生ゴルフ連盟の
委員長、KGA担当者が決まり、就任の
挨拶がなされた。これを受け、松野委
員長より以下の要請が学生連盟にださ
れた。

1. 担当者は当委員会に出席すること。
2. 月例参加選手の服装・マナーの徹
底をはかること。

3. 所属を明確にすること。

4. 平成元年度月例競技学生連盟推薦
選手の提出

推薦選手は男子10名、女子5名と
し、提出期限は3月度委員会まで
とする。

②関東学生ゴルフ連盟月例競技推薦選

手追加の件

日本大学3年 野上浩一選手の推薦
状が提出され、討議の結果、これを
認めた。

③競技スタートの件

平成元年度(4月)より、偶数月は男
子が「1番よりスタート」の第1組ス
タート、奇数月は女子が第1組ス
タートとすることを決定した。

④2月スタート表発送の件

以下の書類をスタート表発送時同封
し、出場者に徹底することを確認し
た。

1. 上着用の注意書
2. 総武CC印旛コース案内図
3. 印旛コース練習場の件

63年度第4回コース・レート委員会 議事録

日時 63年12月2日(火)午後正午

会場 JGA会議室

出席者 尾閑委員長、新井副委員長、小室、
小林、前川、松岡、諸戸、中野、
阪田 各委員

—決議事項—

1. 房総カントリークラブ大上ゴルフ場以
下10俱楽部のコース・レート査定
上記俱楽部のコース・レートについて、
机上配布の資料をもとに次記のように決
定した。

- (1)房総カントリークラブ大上ゴルフ場
(i)高麗グリーン バック・ティ 69.3
レギュラー・ティ 67.2
(ii)ベントグリーン バック・ティ 71.7
レギュラー・ティ 69.4

(2)赤城ゴルフ俱楽部
ベントグリーン バック・ティ 71.3
レギュラー・ティ 69.1

(3)赤城国際カントリークラブ
新井副委員長以下各委員より、査定日当
日、悪天候および悪コンディションの為、
正確な査定が出来なかったとの報告があ
り、これを受け、尾閑委員長は再査定の
必要ありと認め、米春、再査定を行ふこ
とを決定し、全委員これを了承した。

(4)總武カントリークラブ印旛コース
ベントグリーン バック・ティ 71.2
レギュラー・ティ 69.2

(5)ロイヤルメドウゴルフクラブ
ベントグリーン バック・ティ 72.5
レギュラー・ティ 69.9

総会・理事会・委員会

(6)鬼怒川カントリークラブ

(4)高麗グリーン 鬼怒・大谷
パック・ティ 71.6
レギュラー・ティ 69.7
鬼怒・温泉
パック・ティ 71.3
レギュラー・ティ 69.4
大谷・温泉
パック・ティ 71.3
レギュラー・ティ 69.4

(5)ペントグリーン(従来どうり)
鬼怒・大谷 パック・ティ 69.2
レギュラー・ティ 67.6
鬼怒・温泉 パック・ティ 69.4
レギュラー・ティ 67.6
大谷・温泉 パック・ティ 69.5
レギュラー・ティ 67.8

(7)リバーサイドフェニックスゴルフクラブ
(4)高麗グリーン パック・ティ 70.3
レギュラー・ティ 68.8
(5)ペントグリーン パック・ティ 69.8
レギュラー・ティ 68.3

(8)新茨城カントリークラブ

(4)高麗グリーン
桜・梅 パック・ティ 70.9
レギュラー・ティ 68.7
桜・楓 パック・ティ 72.1
レギュラー・ティ 69.6
梅・楓 パック・ティ 70.8
レギュラー・ティ 69.2
(5)ペントグリーン
桜・梅 パック・ティ 70.0
レギュラー・ティ 68.0
桜・楓 パック・ティ 70.8
レギュラー・ティ 68.4

寄居カントリークラブ

(4)高麗グリーン パック・ティ 71.5
レギュラー・ティ 69.3
(5)ペントグリーン パック・ティ 72.1
レギュラー・ティ 69.9

寄居カントリークラブ

(4)左グリーン パック・ティ 71.3
レギュラー・ティ 69.3
(5)ペントグリーン パック・ティ 70.8
レギュラー・ティ 68.8

2. 63年度コース・レート査定スケジュールの件

12月2日現在、申請のあった俱楽部については、米春以降の査定とした。

3. その他

①太平洋クラブ市原コース・掛川グリーンヒル、2コースの査定について
年内、上記2コースの査定が残っているが、試験的に査定日に、コース・レートを決定することとした。

63年度第5回広報委員会 議事録

日 時 昭和63年12月8日(木)午後3時

場 所 飯能GC会議室

出席者 深井副委員長、安藤、笠原、片山、杉山 各委員

陪 席 杉原(凸版)

—討議及び決議事項—

1. KGAニュース 第25号総括

掲載内容の説明が事務局よりなされ、各委員活発な意見交換ののち、深井副委員長より以下の総括がなされた。
「今号は、細部に若干の不満は残るもの、まずはまずの出来であった。掲載写真については、次号からも必ずキャッシュを入れていく事としたい」

2. 「KGAニュース」第26号企画について 企画について

「委員長インタビュー」が今号で終了し、次号からの新企画として、事務局より「農薬問題」「JGA・HDCPについて」「ジュニア活動」の三案が提案された。検討の結果、「JGA・HDCPについて」を4回連載、担当は宮元委員とすることとした。

'89関東オーブン第1回準備委員会 議事録

日 時 昭和63年12月16日(金)正午

場 所 日本出版クラブ会館

出席者 武内委員長、古賀副委員長、高橋(正)、大河原、村上(平)、岩崎、村上、佐藤 各委員

(陪席)関連団体、関連社 代表

笠原(NHK)、斎藤、鈴木、倉持(DSE)、三輪(スポーツEP)

武内委員長となり、12時30分開会を宣し、順次議題審議を行った。

別の協賛社を募ることとした。
2. 開催処理事項担当区分
別紙運営分担表をもとに、武内委員長が詳細に説明、これを確認した。

3. 入場券等の手配

前売券 10,000円(4日間通し券)

当日券 予選3,000円

決勝5,000円

を決定した。その他の製作物については、別紙のとおり決定した。

4. 協賛および副賞

キリンビール、及び、開催記念特別賞金(江戸崎カントリー提供)を除いて、前年どおりとした。尚、日高カントリークラブとしてコースレコード賞の提供を考慮しない旨の申し出あり、後日協議の上決定することを確認した。

5. その他

武内委員長より、関係各社に対しこれまで以上の協力要請がなされ、出席各社これを了承した。
以上をもって、議題審議を終了、武内委員長13時40分閉会を宣した。

平成元年度 第1回予算特別委員会 議事録

日 時 昭和63年12月19日(木)午後2時

場 所 JGA会議室

出席者 武内委員長、中井、尾閑、松野、斎藤、古賀 各委員

武内委員長、議長となり、午後2時10分開会を宣し、順次議題審議を行った。

—決議事項—

1. 昭和63年度一般会計、特別会計決算の件

上記の件につき、武内委員長、机上配布の資料をもとに、詳細に報告、説明を行ない、全員これを承認、次回理事会(昭和64年1月20日)に上程することとなつた。

尚、尾閑、中井委員より、下記の問題提起がなされ、関係委員長、委員会(コースレート、競技、ジュニア)にて検討、協議し、理事会に提案することを確認した。

①連盟預り金とはいえコースレート査定の費用が、決算、予算書に計上されていないのはおかしい。

また、一定の査定額を定めてはどうか。その際、加盟、非加盟、遠隔地、宿泊等を考慮に顧みるが妥当と

思われる。

②競技、ジュニア委員の日当額を再検討してはどうか。本來、ボランティア活動なのだから、実費(交通費、宿泊費)はともかくとして日當は支給する必要がないと考える。

2. 昭和64年度一般会計、特別会計予算の件

武内委員長、上記の件につき資料をもとに、詳細に報告、説明を行い、全員これを承認、次回理事会に上程することとなつた。

チュアゴルフ協会の協力もあり、多大な成果をあげた。これまでには、いわばJGA・HDCPの啓蒙促進期であり、これからは、内容の充実を図りたい。種々の問題、難事が予想されるが、慎重かつ大胆に事にあたりたい。』

2. グリーンシステム実施状況について

事務局長より、机上配布の資料をもとに詳細なる報告がなされ、全員これを確認した。

3. 自社コンピューターによるHDCP査定について

事務局長より、次記の報告、提案がなされた。

「最近、グリーンシステムより自社コンピューターに移行するケースが増えつつあるが、その際にいろいろの問題が生じている。いわば俱楽部側担当者の事務能力に帰すると思われるが、再度啓蒙指導を行いう必要がある。したがって移行時の諸注意、手続きをマニュアル化すること及びグリーンシステム全般についても平易な手引書を作成する必要がある。」上記の件につき、種々の質疑応答がなされ、全員賛意を示した。具体案については、次年度委員会にて検討、協議することを確認した。

4. アンケート調査について

事務局長より、従来の調査事項の他に、具体的な事務処理内容に及ぶアンケート調査を行いたいとの提案がなされ、全員賛意を示した。

5. JGA普通会員のHDCPについて

福田委員長より、現況説明、報告が行われ、活発な質疑応答がなされた。

総会・理事会・委員会

6. フロントティのコース・レート査定について

事務局長より、JGA・HDCP委員会にて決定し、通知のあった上記の件について、KGAコース・レート委員会として具体案を検討中であるとの報告がなされた。

7. その他

次回理事会(64年1月20日)に、現況報告をすることを全員確認した。

63年度第4回入会審査委員会 議事録

日 時 平成元年1月20日(金)11時30分

場 所 日本出版クラブ会館

出席者 細川理事長、武内委員長、相山、藤原、福田、小山、松野、松浦、斎藤、田中 各委員
滝沢、古賀常務理事(加盟申請俱楽部推薦理事)

—決議事項—

1. 新規加盟申請俱楽部審査の件

平成元年1月20日現在、加盟申請のあつた下記3俱楽部について、慎重審査の結果、これを承認、理事会に上程することを決議した。

①鷹ゴルフ俱楽部(板木)

②中央都留カントリー俱楽部(山梨)

③潮来カントリー俱楽部(茨城)

お知らせ

関東ゴルフ連盟「加盟俱楽部便覧」(平成元年1月31日現在)の変更事項は下記のとおりです。お手数ですが、訂正加筆をお願いします。

HDCP

●赤城国際カントリークラブ (正)▲
(誤)●

理事長

●ローズベイカントリークラブ
(新)北村 和男
(旧)北村 和子

●筑波カントリークラブ (新)山田 洋二
(旧)大部孫太夫

●鷹ゴルフ俱楽部 (新)佐藤 充雄
(旧)清水幸雄

●柏ゴルフ俱楽部 (新)田島 清一

(日)坪井 東
●日本カントリークラブ (新)大石 脩
(日)西川正次郎

●寄居カントリークラブ (新)宇津木 繁
(日)根田重康

●愛鷹シックスハンドレッドクラブ
(新)西野 謙介
(日)藏戸總三郎

●伊豆スカイラインカントリー俱楽部
(新)鷹嶋 正敏
(日)大澤 泰

●東名富士カントリークラブ
(新)湯藤 実則
(日)飯塚 淳一

●富士チサンカントリークラブ (新) 阿部 洋一 (旧) 柳 政雄	東京事務所 ●大汎間ゴルフクラブ (正) 中央区日本橋室町3-1-10 田中ビル (誤) 中央区日本橋室町3-3-4	「レギュラーティ」「ペントグリーン」 69.0
支配人 ●ローズベイカントリークラブ (新) 空 席 (旧) 山田 英之	●ユニオンエースゴルフ俱楽部 ③03-361-7183	月例競技参加料支払い方法変更の件 平成元年度4月度月例競技より、参加料を他競技同様、俱楽部経由で関東ゴルフ連盟事務局へお支払い頂くこととなりました。お支払いは、銀行振り込み(三和銀行東京営業部普通口座380)、現金書留等でお受けしております。お手数をおかけ致しますが、他競技同様、申し込み書とともに「振込明細書」をお送り下さいますようお願い申し上げます。
●青梅ゴルフ俱楽部 (新) 早坂 泰二 (旧) 林 玉雄	●ザ・鹿野山カントリークラブ (新) ⑦106 港区東麻布1-9-16 小早川ビル (誤) ⑦03-505-0330 ③03-505-0699	尚、ご入金は、お申し込みと同時または、競技開催日までにお願いいたします。また、参加料は6,180円(税込)と変わっております。人数をご確認のうえ、お間違いのないようお振り込み下さい。
●日本カントリークラブ (新) 川崎 充 (旧) 増山 和久	(H) ⑦105 港区芝公園4-4-13 東京タワー ボーリングセンター ③03-431-4156 ③03-431-4168	コース・レート 71.7
電話 ●三井の森ゴルフ俱楽部 (新) 0266-76-5527 (旧) 0266-76-2111	KGA(P28)、JGA(P33)「元年度コース・レーティング一覧表」を下記の数値に変更いたします。 コース・レートの変更 ●富士カントリークラブ 「パック・ティ」「ペントグリーン」	「パック・ティ」「ペントグリーン」 69.3
所在地 ●大汎間ゴルフクラブ (正) 北佐久郡御代田町字塩野字長坂400 (誤) 北佐久郡御代田町大汎間		

月例競技成績表

(昭和63年11月月例)

11月11日(金)武藏カントリークラブ(笠井)
参加: 男子 96名 女子 54名 <男子>

順位	氏名	俱楽部	アウト	イン	合計
1	樺本 謙明	岡部チサン	36	34	70
2	飯島 康之	太田 双葉	34	37	71
2	高岡 博之	眞名	36	35	71
4	飯塚 信太郎	東名	36	36	72
4	北島 泰介	鳥山城	37	35	72
4	和田 博	東京五日市	37	35	72

コース・レート 71.0

<女子>

順位	氏名	俱楽部	アウト	イン	合計
1	三木 恵美子	富士	38	38	76
2	渡辺 恵子	高根	41	39	80
3	加藤 勝栄	平塚富士見	42	40	82

コース・レート 69.3

(平成元年1月月例)

1月24日(火)程ヶ谷カントリー俱乐部

参加 男子 93名 3名(東北連盟) 女子 51名 <男子>

順位	氏名	俱楽部	アウト	イン	合計
1	太田 再勇	大相模	38	33	71
2	吉井 光男	湘南シーサイド	34	38	72
3	石井 寿一	上総富士	35	38	73
3	内藤 正幸	桜ヶ丘	35	38	73
3	中村 彰宏	東野	36	37	73
3	中島 広行	伊豆にらやま	37	36	73

コース・レート 71.8

<女子>

順位	氏名	俱楽部	アウト	イン	合計
1	渡辺 恵子	高根	39	39	78
2	加藤 勝栄	平塚富士見	40	39	79
3	中田 朱美	袖ヶ浦	39	42	81

コース・レート 71.6

<女子>

順位	氏名	俱楽部	アウト	イン	合計
1	須賀みづみ	和	37	44	81

コース・レート 69.2

(昭和63年12月月例)

12月6日(水)龍ヶ崎カントリー俱乐部

参加: 男子 112名 女子 52名 <男子>

順位	氏名	俱楽部	アウト	イン	合計
1	室野 歩	新千葉	35	38	73
2	岡田 光正	風山	39	35	74
2	鹿屋 一郎	セントラル	37	37	74
2	大友 富雄	塙原	36	38	74
2	高安 行	セントラル	39	35	74
2	和田 博	東京五日市	35	39	74

コース・レート 73.2

<女子>

順位	氏名	俱楽部	アウト	イン	合計
1	渡辺 恵子	高根	36	41	77
2	斎藤 美樹	甘楽	39	42	81
3	猪股 美恵子	上総富士	40	42	82

コース・レート 71.6

(平成元年2月月例)

2月20日(月)總武カントリークラブ(印旛)

参加: 男子 93名 3名(東北連盟) 女子 37名 <男子>

順位	氏名	俱楽部	アウト	イン	合計
1	坂田 哲男	袖ヶ浦	37	34	71
2	大山 四郎	鎌ヶ谷	34	38	72
3	初見 炳治	大利根	36	37	73
4	山内 実広	東京五日市	37	37	74
4	武田 信之	始ヶ崎	37	37	74
4	新村 ヨシオ	千葉	36	38	74
4	藤崎 和典	富士笠間	36	38	74
4	奥延 通康	茨城	41	33	74

コース・レート 71.2

<女子>

順位	氏名	俱楽部	アウト	イン	合計
1	西野 朱美	袖ヶ浦	39	41	80
2	小笠原 みさ子	大厚木	41	40	81
2	加藤 勝栄	平塚富士見	40	41	81

コース・レート 69.2

平成元年4月1日発行 KGAニュースNo.26

発行所 関東ゴルフ連盟 東京都千代田区丸の内1-1-1 Tel(03)215-0511 発行人 細川謹貞 編集 広報委員会